

The Japanese
Society of
Practitioners for
Pediatric Dentistry

JSPP

【入会方法】JSPPのHP (<http://www.jspp.net/>) より入会資料請求フォームに記載の上、ご請求ください。
年会費 10,000円、入会金 10,000円

JSPP 地域支援 (沖縄編)

JSPP 理事 地域支援委員会

加藤 真由美

(くばがわ歯科医院、沖縄県那覇市開業)



「沖縄の小児歯科医療の発展のためにJSPPが全面的に協力しますよ。」と4年前、長野県松本市での懇親会で当時の俵本寛志会長に声をかけていただき、それがきっかけとなり、沖縄で、小児歯科に関する活動が動き始めました。今回はJSPPの支援で活発化した沖縄の活動について、報告させていただきます。

沖縄県は3歳児う蝕有病者率ワースト1位が続いており、平成19年度で42.85%、平成20年度12歳児DMFT数は、3.1とここでもワースト1位です。沖縄県の人口は約130万人ですが、離島も多く、なかなかきめ細かい情報が伝わらない現状があります。

ただし出生率に関しては、ご存知のように1975年から34年連続1位で2008年度の合計特殊出生率は1.78です。2008年に生まれた赤ちゃんは1万6,736人で、人口の自然増加数は全国ではマイナス傾向にありますが、沖縄は7,244人とわずかですが増加しています。

「まず小児歯科のスタディグループを作ったらどうだ」とアドバイスをうけ、当時の沖縄県歯科医師会会長の高嶺明彦先生に協力をお願いし、現在の沖縄県歯科医師会会長の比嘉良喬先生、小児歯科学会沖縄県代表幹事の竹島勇先生、同じJSPP会員の島袋郁子先生と共に「沖縄小児歯科研究会」を設立することができました。

設立記念講演には、松本の懇親会でたまたま私のそばにいた岡山大学の岡崎好秀講師が派遣され、幸運なことに、その時以来毎年2月には沖縄に来ていただき講演してもらっています。また、JSPP理事会も2回沖縄で行われ、全国各地から南の島まで足を運んでもらいました。

不思議なもので、会が設立されるとまるで待ってましたとばかりに、地元育児情報誌の取材をうけたり、地元新聞に投稿したり、講演の依頼をうけたりと会員は大忙しです。会が主催する定期講演会もこれまでに6回行なっています。今まで沖縄で行われていた講演会というインプラント治療や歯周治療が主でしたので、小児歯科

に関連した講演ということで好評です。

私は、離島県であるがゆえの小児歯科に関する情報不足、沖縄には歯学部がないということで、少しでも沖縄の子ども達のためになればと当時の俵本会長、池尾会長、今期の荻田会長からJSPPの理事をおおせつかって3期目になります。さすがに、はじめお話があった時は小児歯科界で著名な先生方と一緒にとは躊躇しましたが、沖縄の先生方が背中を押してくれて分不相応ながら引きうけさせてもらっています。JSPP理事の先生方は昭和の「むし歯洪水」時代に活躍され、日本の子ども達を健康へと導いてきた実績があります。

今までの経験をふまえて「むし歯大国沖縄」に沢山のアドバイスをいただいています。その中で、他科の先生方に沖縄の子ども達の現状を知ってもらう事で協力をお願いしたらという提案があり、「沖縄の子ども達のお口の現状」について小児科医を対象に2回講演させられました。小児科医も子ども達の健康と幸せを願うのは同じ気持ちですから、1.6健診での歯科の介入は遅いので10ヶ月健診から参加した方がいいのではと小児科医から声があがり、実現するのはまだまだ遠い話だと思いますが、やっと歯科に関心を持ってきてきます。JSPPの理事は北は北海道から南は九州福岡、長崎、沖縄と全国25名います、その先生方の情報、協力にて先の講演は実現できました。ごく普通の地方歯科医師の私がここまで動けたのもJSPP会員であったからこそです。

今回の「沖縄編」をお読みになって、地元で小児歯科を盛り上げたいと思っている先生方、現JSPP会員は地域支援委員会へまずは相談を、まだ会員でない先生は是非JSPPへの入会をお勧めします。

JSPPの活動

JSPP (全国小児歯科開業医会) は小児の保健の向上と小児歯科臨床のより良い発展のための活動を行っています。

①総会・研修会の開催

小児歯科臨床と小児の保健に関する研究会を開催し、会員相互の親睦とともに小児歯科医療保健の研鑽に努めています。

②患者紹介ネットワーク

全国の会員をネットワークで結び、患者さんの紹介や情報の交換を行っています。

③研究助成

大学や研究機関での研究を助成して、若い研究肩の育成に協力しています。

④月刊「小児歯科臨床」の編集協力を行っています。